

池田 知人さん

①中小企業診断士を受験した動機

私は旅行代理店から商社に29歳にて転職、30歳で結婚をしました。31歳になった時には仕事・結婚生活にも慣れ、人生が安定に向かっているある仕事帰り、満員電車の中で将来のイメージにふと浮かび、変哲のない人生が垣間見え非常に恐ろしい感覚に陥り、ただただ漠然と恐怖しました。しかしふと頭上を見上げた車内中吊り広告から目に入ってきた文字が「中小企業診断士」でした。その瞬間は恐怖と同時に自分の人生変えちゃうチャレンジ精神にも火が点いた瞬間でもありました。

②一次試験対策の学習方法

初めに断言します、一次試験は時間をかけてひたすら暗記・理解です！！！！

ネットや書籍を見ていると、独学且つ2~3ヶ月の勉強で合格した人もいます。そんな方々は無視です・・・

自分もやれば出来ると錯覚しますが、そんな方は学校を探す必要もなくこのHPも見っていないと思います。私も錯覚に陥り当初独学を選択しました。しかし広く浅い知識を求められる一次試験において何の知識も持たない私はその後専門機関への通学を選択し、自分が選んだ学校のテキストをひたすら暗記・理解しました。

正直、一次試験対策として学校はどこでも良いと思います。又、私は自分用のサブノートを作りませんでした。授業中でのチェックポイントはテキストに直接書き込みました。サブノートを作る事は自己満足で終わり、無意味な気がします。テキスト自体がプロが書き込んだ最高のノートです。私がした事はそのテキストを時間をかけて、ただ暗記・理解しただけです。

③2次試験対策の学習方法

私の二次試験対策としては、下記4点を心掛けていました。

- 1.MMCの講義を良く聴く
- 2.復習をする

3.余計な事はしない

4.全ての事例の再答案を早く提出する。

と簡単な事だけしかしておりません。

しかしながらこの簡単な事をやり続ける事が非常に困難です。仕事をされている方が大半だと思います。残業・仕事疲れ・接待・家庭サービスetc

逆に言うとこれ以上の事は出来ないと考えていいくらいです。私は一日のタイムスケジュールや内容を予め決めてました。朝・昼・夕の各一時間、通勤や営業の移動時間の隙間時間を有効活用する事で平日3時間強の時間を確保、土日で10時間を確保するイメージでした。それでも講義の内容・講義前のウォーミングアップ問題の復習、過去問と講義で行った事例の再提出・見直しには時間がかかり、学習予定より遅れる事が頻繁にありました。しかしゆっくりと着実にやってきた事を自分の中で整理し納得し自分の実にする事を優先事項としました。

④二次合格のために特に留意した点

私が特に留意した点は、二次試験の為の学校選びです。

一次試験は某大手に通い合格しました、ただその年の二次試験の受験の際にどうしても某大手の講義内容やこちらからの質問に対する回答に納得が行かず、最後まで疑心暗鬼のまま試験に臨んだ結果、当たり前の不合格でした。そこで私は二次試験の為に学校選びを始めました。そこで出会ったのがMMCです。

その年6割を超える合格率・少人数体制・再答案のチェックシステム等、中小企業診断士試験に挑戦するラストイヤーと決めてましたので、ここに賭けようと思いました。賭けた結果は・・・ここに投稿しているからお分かりだと思います。

⑤合格の喜び

支えてくれた両親・家族・MMC講師陣に感謝します。この数年間は勉強中心でした。、特に妻には本当に寂しい思いをさせました。新婚生活も半年くらいで色々聴いてあげる事も出来ず、妻が遊びに行きたい所にも私は常に勉強道具を持って自分の世界の中でした。ラストイヤーの今年は必ず受かると信じて応援をずっとしてくれてました。

有難うございます。

